

秋田県横手発・DX で革新する地すべり災害予防ソリューション ベトナムで実証事業を開始

～JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業に採択～

独立行政法人国際協力機構（JICA、本部：東京都千代田区、理事長：田中明彦）は、奥山ボーリング株式会社（本社：秋田県横手市）及び株式会社オサシ・テクノス（本社：高知県高知市）が提案する「ベトナム国 デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation 以下、DX）を活用した地すべり災害予防ソリューションに関するビジネス化実証事業」を、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の2024年度公示において採択しました。本事業には、地域金融機関として株式会社北都銀行が参画します。奥山ボーリング、オサシ・テクノスとJICAは連携し、費用対効果の高い技術を活用しながら、ベトナムの地すべりを診断・監視及び土砂流出抑制により、人的・経済的被害の軽減を目指します。

【ベトナムの災害状況】

ベトナムは南西モンスーンや熱帯性低気圧（サイクロン）、台風、集中豪雨の影響を受けやすい気象条件にあり、自然災害の被害が世界的に見ても大きい国です。特に気候変動の影響により、今後さらに土砂災害のリスクが拡大すると懸念されています。

【プロジェクト概要】

ベトナムにおいて、地すべり災害が多発する地域で効率的かつ低コストで人命とインフラを守ることを目的として、以下のソリューションの提供を目指します。

革新的 DX 地すべり災害予防ソリューションの3つの STEP

STEP1: 地すべり診断

リスクの見える化「どこが危険か、一目でわかる」

- ・ ドローン解析×衛星データ
- ・ 最先端モニタリング技術で広域リスクを診断（Synspective 社）



ドローンによる空撮作業の様子

STEP2: 早期警戒システム

リアルタイム監視で素早い対応「いつでもどこでも、安心の早期警報」

- ・ 地盤伸縮計と雨量計で異常を常時監視
- ・ スマホ通知やサイレンで住民避難を促進



地盤伸縮計の設置の様子

STEP3: 応急対策

迅速&低コストなリスク軽減「最小限のコストで最大限の安全を」

- ・地下水を排除する簡易水抜き工法
- ・コスト 1/10 のスピード対策



簡易水抜き工法実施の様子

本プロジェクトは、ベトナムにおける災害リスクの軽減に貢献します。

◇中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用していただくことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の 2024 年度公示では、全国で 57 件、うち東北地域では 3 件 奥山ボーリング株式会社・株式会社オサシ・テクノス（秋田県・高知県）、株式会社石塚養蜂園（宮城県）、株式会社山本製作所（山形県）が採択されました。

【参考】

中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

2024 年度公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20241223_41.html

～本ビジネスが達成に貢献する SDGs～



【本件に関する問い合わせ先／お申込み先】 JICA 東北 市民参加協力課 担当：吉岡・川崎

入力フォーム: <https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090

